

神栖市における有機ヒ素汚染源 調査等についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖市 環境課、(株)鴻池組、(株)クボタ

総合調査検討会の結果について

5月30日(火)午後に平成18年第1回国内における毒ガス弾に関する総合調査検討会を開催しました。神栖関連の主な内容は次の通りです。

茨城県神栖市における地下水モニタリング(冬季)の結果について

2006年冬季の地下水モニタリングの結果を報告しました。ジフェニルアルシン酸の濃度は、全体的には、これまでの結果と比べて大きな変動は見られませんでした。また、ABトラック南西端で新たに6本設置したモニタリング孔の地下水からは、ジフェニルアルシン酸は検出されませんでした。

茨城県神栖市における汚染メカニズム解明調査の状況について

汚染メカニズム解明調査の現時点における進捗状況を報告しました。本誌でこれまでにお知らせしている追加的な揚水調査の結果がまとまりましたので、報告しました。また、今後の作業として、地下水モニタリングの継続、追加的なヒアリングの実施、広域的な地下水汚染シミュレーションの実施等を行う予定であることを報告しました。

検討会の資料は環境省ホームページに掲載されます。

(http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html)

追加的な揚水調査の状況について

汚染メカニズム解明調査の一環として、追加的な揚水調査を実施しております。

掘削調査地点であるテント内に設置した井戸において、4月中旬から5月上旬まで揚水試験を実施しました。

揚水した汚染地下水の処理も終了し、揚水調査を終えた井戸や水処理施設の撤去を開始する予定です。

解体撤去は6月から始める予定で、スケジュールは別途お示しします。

作業中は車両の通行等によりご迷惑をおかけしますが、安全最優先で行いますので、何とぞご協力の程、宜しくお願い致します。

なお、環境省では、有機ヒ素化合物による汚染環境(地下水・土壌)の回復に関する検討課題に対応するため、茨城県、神栖市及び技術を有する企業の協力を得ながら浄化技術の確立に向けた調査研究を進めているところです。

汚染源掘削現場の土壌容器詰め状況について

汚染源掘削現場での土壌容器詰めにつきましては、以下のスケジュールで進める予定です。6月初旬より掘削現場での準備作業としまして、工事事務所の設営、掘削現場内の整備を開始致します。

現場内の車両の出入りが若干ありますが、従来通り朝7:30～8:00の現場内への車両進入を厳禁し、通学への影響を最少に留めるよう努めます。

お気づきの点がございましたら、お気軽に、末尾に記載の現場事務所までご連絡下さい。

スケジュール(予定)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
汚染源掘削現場	準備工	現場内フレコン運搬・詰め替え工	現場内フレコン運搬・詰め替え工	現場内フレコン運搬・詰め替え工	現場内フレコン運搬・詰め替え工	保管テント撤去	グラウンド復旧	環境測定
運搬					運搬			

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい。

鴻池組現場事務所 090-4054-1557
クボタ現場事務所 090-4752-5858
環境省環境リスク評価室 03-5521-8262 (<http://www.env.go.jp>)
茨城県環境対策課 029-301-2966 (<http://www.pref.ibaraki.jp>)
神栖市環境課 0299-90-1146 (<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp>)